第18回　NITS帝京大学センターフォーラム　～子どもを見つめて～

いじめ問題の現在地

ー 揺らぎ始めたいじめの境界線とこれからの学校の役割 ー

12月5日(土)

時　間　13:00-16:30

場　所　帝京大学八王子キャンパス

参加費 無料

参加には事前登録が必要です。
2次元バーコードより申込を
お願いします。
【〆切11/25水】

参加申込

「いじめ防止対策推進法」において、いじめは、行為の軽重や意図の有無だけでなく、児童生徒が心身の苦痛を感じているかという視点から捉えられています。この考え方は、被害を訴える子どもを早期に守るという観点から、重要な意味を持ってきました。 しかし近年、この考え方に基づいていじめを捉え、対応する学校現場では、新たな難しさが生じています。「これはいじめなのか」「誰を被害者、誰を加害者として捉えるのか」といった判断が、必ずしも容易ではない場面が増えています。 さらに、いじめをめぐる問題は、学校の中だけにとどまらないものとなっています。例えば、SNSや動画の拡散によって、加害者とされた子どもだけでなく、その家族までもが特定され、社会的な非難の対象となることがあります。そのことが、保護者にとっても、子どもの行為やいじめの事実をどのように受け止めるのかを難しくし、学校との間で認識を共有することが容易ではない状況を生むこともあります。

本フォーラムでは、法律・報道・教育行政という異なる立場からいじめ問題に向き合ってきた方々を招き、具体的な事例をもとに、「教室の中」だけでなく、保護者・地域・SNSなど「教室の外」にも広がるこうした状況の中で、これからの学校が果たすべき役割を、参会者の皆様とともに考えていきます。

【パネリスト】

佐藤香代 氏
東京弁護士会
弁護士

各務滋 氏
朝日新聞社
論説委員

千葉正法 氏
多摩市教育委員会
教育長

【コーディネーター】

建部 豊
帝京大学大学院
教職研究科 教授

内容 ◯具体的なケースをもとにした事例検討
◯参会者同士での事例についての協議
◯パネリストによるコメントと事例の深掘り

National Institute for School Teachers and Staff Development

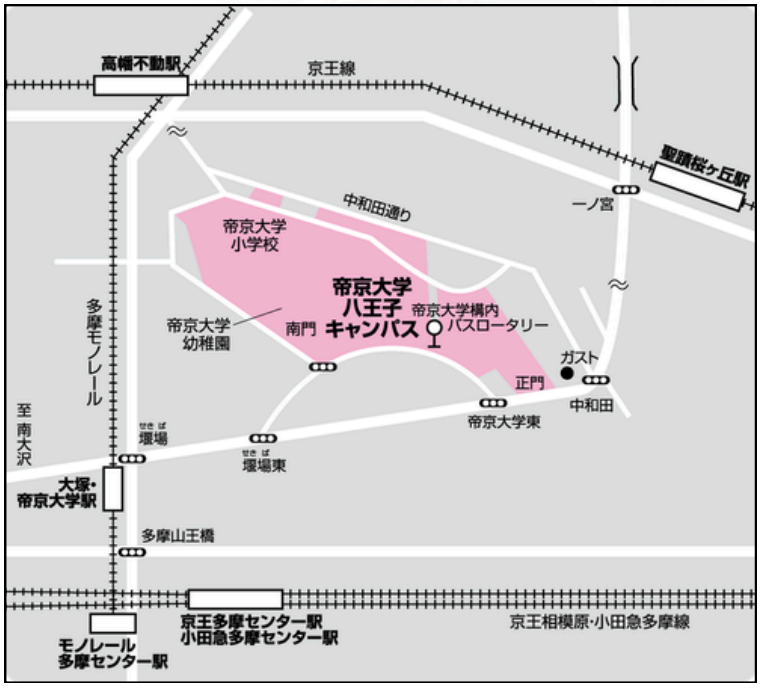
TEIKYO

後援 ：申請中

いじめ問題の現在地
ー 揺らぎ始めたいじめの境界線とこれからの学校の役割 ー

12:30-13:00	受付
13:00-13:10	開会 主催者挨拶および趣旨説明
13:10-13:20	協議対象とする事例の紹介
13:20-13:50	パネリストの自己紹介とコメント
13:50-14:00	移動・休憩
14:00-15:00	事例についてのグループ協議
15:00-15:10	移動・休憩
15:10-16:20	パネルディスカッション/事例の深掘り
16:20-16:30	まとめ 閉会

○本フォーラムは、全国教員研修プラットフォーム“Plant”にもアップされています。受講履歴に掲載いただくことが可能です。
○当日の様子は、大学webサイトやメディア等に掲載される可能性がございます。
○詳細な場所(建物や教室名等）は後日リマインダメールにてお伝えいたします。会場(帝京大学八王子キャンパス)へのアクセスは、右図の通りです。



京王線高幡不動駅・聖蹟桜ヶ丘駅・小田急線京王線多摩センター駅よりバス（帝京大学構内行）
または多摩モノレール大塚・帝京大学駅より徒歩

NITS 帝京大学センターについて

帝京大学大学院教職研究科は、今年度より教職員支援機構（NITS）地域センター事業に選定され、NITS帝京大学センターを開設しました。理論と実践の融合や教育と医療との連携といった、教職研究科がこれまで大切にしてきた特色を引き継ぎつつ、NITSと連携しながら、「研修観の転換」や「学び合いのコミュニティ」形成に取り組んでいます。本フォーラムも帝京大学教職大学院フォーラムからNITS帝京大学センターフォーラムと改称しましたが、目的や狙い、内容などは引き継いでいます

＜お問い合わせ＞
帝京大学八王子キャンパス 総務・企画課
TEL：042-678-3663
E-mail：teikyogste@gmail.com